記者発表

平成３０年８月３０日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

８月２８日前線に伴う豪雨における寒河江ダムの効果について

～　寒河江ダムによる水位低減効果　約１０３センチ　～

寒河江ダムでは、前線に伴う豪雨により、平成３０年８月２８日明け方から朝にかけて、**洪水が発生**しました。

この影響により、寒河江ダムでは、流れ込む水を一時ため込んで下流河川の増水を低減させる※防災操作（洪水調節）を行いました。**寒河江ダムへの最大流入量は約５７５m3/s（平成３年管理移行後、歴代８位）**で、**ダムにため込んだ水の総量は、約２６０万m3**に達しました。（東京ドームを容器とすると約２．１杯分）

この防災操作（洪水調節）により、**寒河江ダムの下流河川の水位（西根地点）を約１０３cm低減**させる効果があったものと推測されます。

※防災操作（洪水調節）
ダムに流れ込む水を一時ため込んで下流河川の増水を低減させる操作のことで、寒河江ダムの場合、流入する水量が200m^3/s以上の場合に実施

※歴代　最大流入量
1位　平成25年7月18日洪水　1，278m3/s
2位　平成25年7月22日洪水　724m3/s
3位　平成7年8月10日洪水　681m3/s

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関１５８
副所長　坂本（サカモト）悟（サトシ）（内線204）
調査課長　片桐（カタギリ）真也（シンヤ）（内線351）
電話　０２３７－７５－２３１１（代表）

出水速報　最上川水系　寒河江ダムの効果（ 平成30年8月28日 前線に伴う洪水 ）

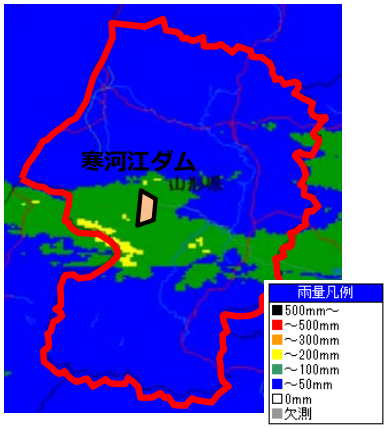
○最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、8月27日21時頃から降り続いた雨は、8月28日7時までに**累加雨量が75mm**に達し、寒河江ダムでは**最大毎秒575m³**（8月28日6:00 歴代８位）の水が流れ込みました。

○今回の洪水において、寒河江ダムでは**約260万m³（※東京ドームで約2.1杯分）の水を貯め込み**、下流河川の水位の低下を図りました。

○寒河江ダムによって、ダム下流の**寒河江市西根地点（寒河江川下流基準地点）で約1.03mの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

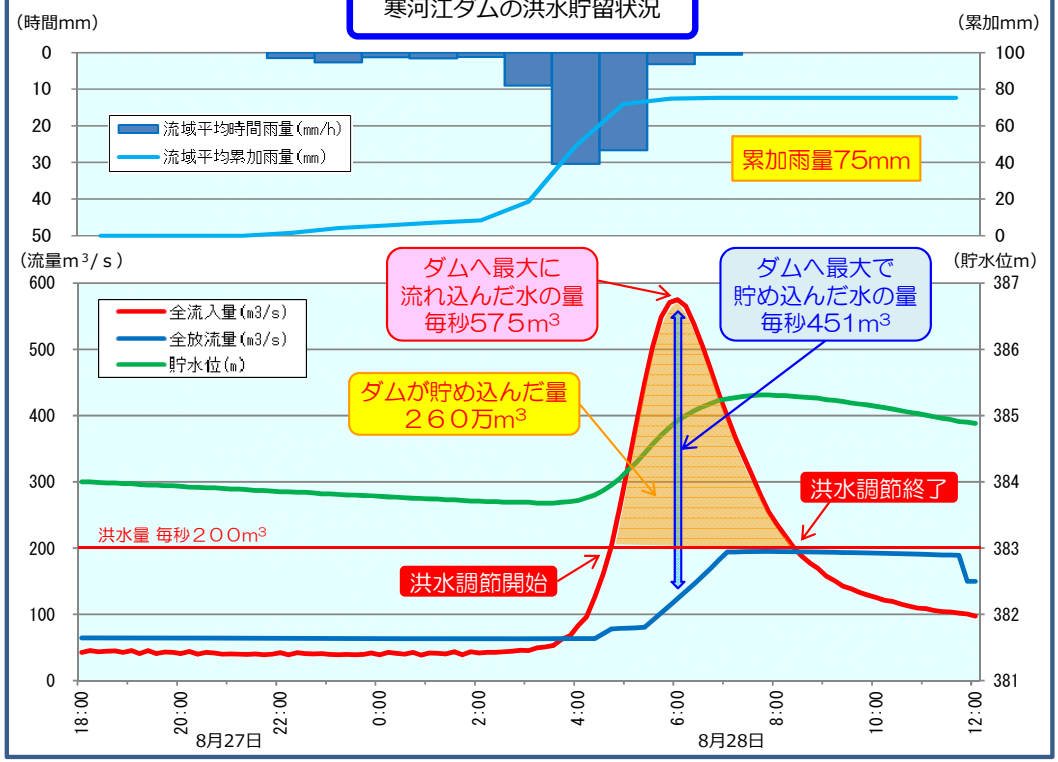
レーダー累加雨量
（8月27日21:00 ～ 8月28日7:00）



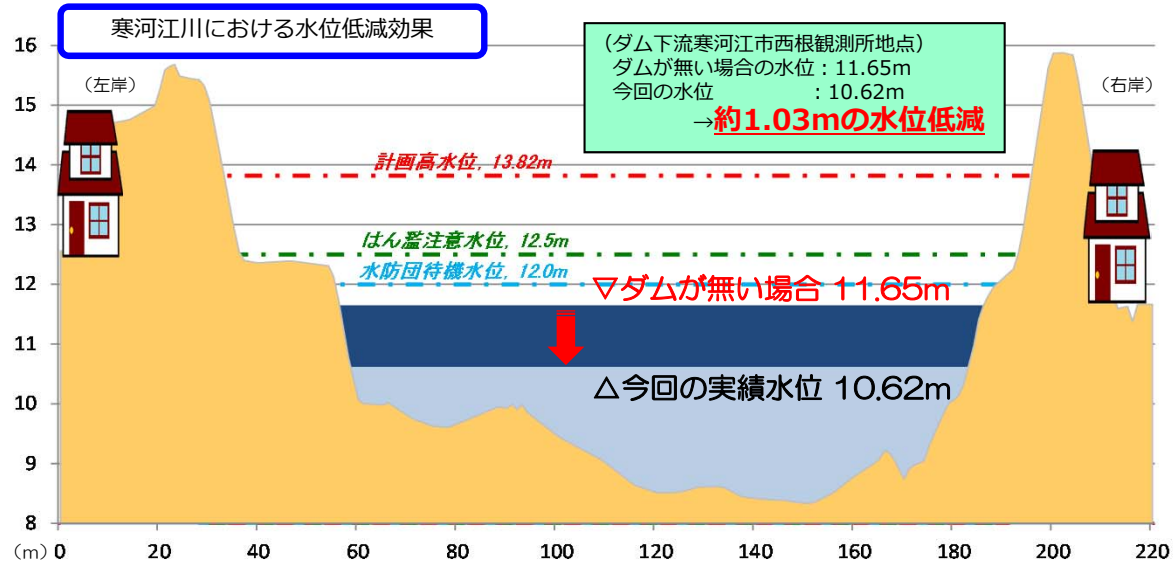
位　置　図



寒河江ダムの洪水貯留状況



寒河江川における水位低減効果



寒河江ダム貯水状況

